

令和2年度青森市急病センター運営審議会 会議概要

日 時：令和2年6月15日（月）午後7時～7時30分

場 所：青森市役所本庁舎 2階 庁議室

出席委員：近藤博満委員（議長）、千葉武揚委員、齋藤兄治委員、川嶋啓明委員、高橋敏之委員、太田 潔委員、小谷健児委員、近井宏樹委員、山田明子委員、吉本雅治委員《計10名》

欠席委員：なし

事務局：青森市長 小野寺 晃彦、保健部長 浦田 浩美
保健部青森市保健所長 野村 由美子、保健部次長 山口 朋子
保健予防課長 柴田 一史、保健予防課主幹 福島 貴子
保健予防課主幹 大澤 真理子、保健予防課主幹 白取 和子
保健予防課主査 宮本 大輔、保健予防課主事 小倉 雅彦
保健予防課主事 櫻田 亮太、保健予防課主事 稲葉 正考
《計12名》

+++++

【会議次第】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付式
- 3 青森市長あいさつ
- 4 組織会
- 5 議事
青森市急病センターの運営について
- 6 閉会

【会議要旨】

議事

○青森市急病センターの運営について

⇒事務局から資料1、資料2、資料3のとおり説明があった。

意見・質疑応答

(議長)

青森市急病センターが新型コロナウイルス感染の疑いのあるかたを診察する地域外来となり、一次救急を止めることによって、二次、三次救急に患者が流れるとの意見があったため、昨年度1年間の青森市急病センター利用者を集計したところ、約70%が風邪、感冒、約30%がその他の救急疾患であった。

一次救急を止めた場合、市民病院、在宅当番医等に、一次救急からの患者の診察を手伝ってもらうことになるが、一次救急、二次救急を受診する新型コロナウイルス感染症患者が地域外来を受診すると、市民病院、県立病院を受診する患者が減少すると考えられるため、地域外来開設にご理解いただけると思う。

(高橋委員)

急病センターでレントゲンは撮らないのか。

(議長)

レントゲンはありません。

(議長)

青森市地域外来・検査センターに協力していただける医師は、地域外来39名、検査センター36名となっている。

今後問題になるのは、いつ一次救急である急病センターに戻すかということであり、その時期が来たらまた運営審議会を開催することとなる。

(齋藤委員)

PCR検査は委託先である民間検査機関で、その日のうちに何件検査できるのか。

(議長)

(株)LSIメディエンスは全国で1日に1,000件程度検査可能であり、現状で1日40件程度検査可能である。